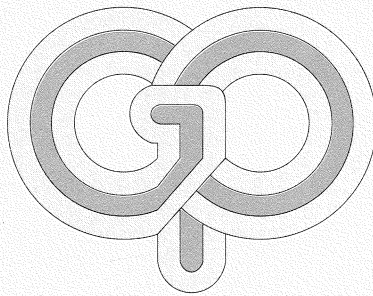


# 岐阜県の プラスチック



大松理事長の新年ごあいさつ

岐阜県にプラスチックセンターの新設を要望

新年互例会で60人が交流を深める

経営革新を促す中小企業のリストラ支援法が成立

デザインのすすめ

組合員の工場訪問

事務局だより

新年互例会で検定合格者とともに  
参加者一同が記念撮影



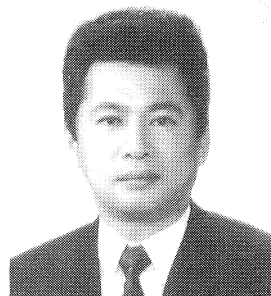
厳しい環境の中から抜け出し

## 業界の実力を発揮する年

岐阜県プラスチック工業組合

理事長 大松 利幸

平成6年、明けましておめでとうございます。  
組合員、賛助会員、さらに関係機関各位は、どのような新年を迎えられましたか。謹んで、新年のご挨拶を申し上げます。



年頭に当たり、まず、誰もが思いめぐらしますことは景気の動きで、とくに新年早々流れたニュースにOECD（経済協力開発機構）から発表された日本、米国、ドイツなど主要先進国24カ国の実質経済成長率見通しがあります。それによりますと「日本の経済成長率は93年がマイナス0.5%、94年がプラス0.5%」という暗いゼロ成長見通しで、企業経営に身を引き締められる思いがしました。

しかも、景気がどうにか回復するのは95年、やっと2.3%の成長が見込めるといふ厳しい内容で、戦後最大33カ月も続く不況脱出策は無いものか。また、この苦況を切り抜けることができる経営戦略は無いものか。そうした企業の経営努力、業界としての組織的な活動も必要ではありますが、何よりも国や県の減税、公共事業の拡大など財政、金融両面での景気刺激策を渴望するしだいでもあります。

当プラスチック工業組合は昨年10月に『創立25周年記念式典』を開催し、業界の成長と発展ぶりを県内外の関係者に報告するとともに、さらなる発展を誓ったところであります。迎えた新年、厳しい経営環境の中ではありますが、これまで急成長を遂げてきました業界・企業の実力をフルに発揮、明るいプラスチック加工業界を築きたいものです。

# 成形業界発展の原動力に

## プラスチックセンターの設置を

### 岐阜県と自民党県連に要望

岐阜県プラスチック工業組合は昨年12月3日、岐阜県に対し「県内プラスチック業界の生産技術の向上を図るため岐阜県プラスチックセンター（仮称）を設置してほしい」と、要望書を提出した。平成6年度の予算編成に当たり、業界振興施策の柱にしてほしいと陳情したもので、大松理事長と竹内事務局長が岩垣商工労働部長を通じて梶原知事はじめ、篠田副知事、日置総合政策局長、岸上工業技術センター場長ら関係者に書面で実現を要望した。また、12月8日には日比副理事長と竹内事務局長が、同様趣旨の要望書を自民党岐阜県連を通じて県議会の県政自民党に提出した。

#### 七大地場産業として基盤を確立

岐阜県下のプラスチック製品製造業は岐阜・大垣地区と中濃地区を中心に915企業が活動している。その企業に従事する従業員は1万2,824人で、平成4年の製造品出荷額は、3,281億円にものほり、岐阜県七大産業の一翼を担う地場産業として揺るぎない基盤を築いている。

また、生産品目も時代のユーザーニーズに対応して変化したものの、今日では日用雑貨品にはじまりプラスチック板、棒、継手、フィルムシート、機械器具や輸送用機器などの工業部品、建築材料、発砲樹脂製品、強化プラスチック製品、さらには再生プラスチック材料にいたるまで極めて幅広い。企業の業種も射出成形、押し出し成形、圧縮成形、中空成形、発泡成形、インフレーション成形、真空成形、注型成形など成形方法のほとんどが行われている。

ところが岐阜県内のプラスチック業界も長引く平成不況の影響、大企業のリストラ（事業の再編成）さらには新材料の登場、技術革新など

と、経済の多様かつ構造的な変化により、経営環境の厳しさは増すばかり。こうした悪環境の中で活路を切り開いて行くためには、経営情報、技術情報を的確に迅速に把握し、生産技術の向上や合理化を図り、社会のニーズに対応した製品の供給、高付加価値化が重要である。

現在の県内プラスチック産業に対する岐阜県の指導・研究機関としての体制は、岐阜県工業技術センターの新素材利用技術部に専門研究員を配置しているだけである。他の六大産業、繊維、陶磁器、紙業、金属、工芸、食品（現在、ハイテクセンターを建設中）には、それぞれ専門の試験研究機関と施設を持ち、専門の研究・指導員が多数配置されている。

工業組合理事会では対応策を話し合った結果「地場産業の一翼を担うプラスチック産業にも相次ぎ登場する新機能樹脂の利用開発、加工技術の開発、指導、研修、情報交流などを総合的にかつ体系的に実施できる岐阜県プラスチックセンター（仮称）を設置するように…」と要望していくことにした。

# 新年互礼会開催、60人が交流深める

## 「業界ぐるみで不況克服を…」来賓が激励

岐阜県プラスチック工業組合は1月22日午後、岐阜市六条南の岐阜平安閣で『新年初役員会』に続いて『新年互礼会』を開催した。役員会は平成6年度の事業計画や予算を審議する理事会、通常総会の日程などを協議、また、新年互礼会には組合員60人が出席して和やかに交流・懇親を深めたが、この席上で『技能検定合格証書伝達式』を行い、今年度のプラスチック技能検定試験に合格した10人の前途を激励した。

### 総会は5月27日

新年初役員会は当面の組合運営について協議し、平成6年度の第26回通常総会の日程を、5月27日に岐阜市日の出町の岐山会館で開催することとした。当日は午後3時30分から理事会、同4時から総会、同5時から懇親会を開催する予定である。

総会に提出する議案は、3月24日に平成6年度の事業計画と予算などについて役員会、さらに4月21日には平成5年度の事業報告と決算などについて審議する理事会を開催することにした。

### 内外価格差も不安

新年互礼会は来賓を含めて60人が参加、この席上、大松理事長はあいさつに立ち「年頭にあたり気がかりなのは長引く不況、政局の混迷もあって早期回復は望めそうにない。この環境に加えて不安なのは原料樹脂の内外価格差問題。進展次第で成形加工業界は大きな余波を受け、窮地に追い込まれるかもし



大松理事長のあいさつ



岸上工業技術センター場長の首頭で乾杯

れない。新年はこうした悪環境を見極め、業界ぐるみで技術、情報、人材といった経営資源の充実につとめ、不況のトンネルから抜け出していきたい」と慎重な経営姿勢を呼びかけた。

続いて来賓の坂口福雄県商工労働部中小企業指導課長と羽淵友二県中小企業団体中央会副会

長の二人があいさつした。坂口氏は「岐阜県なりに景気対策を最重点に進めてきたが、幾多の課題が立ちはだかっている。国・県の追加景気対策や新年度予算の内容に期待してもらいたい。とくに県としては“日本一住みよいふるさと”をめざして“夢おこし”から“夢そだて”への事業を展開しているところで、プラスチック業界もこの環境にめげず、先端複合材料の研究開発、プラスチックのリサイクルといった新しい課題を先取りし、地域経済の発展に活躍し

てほしい」とする岩垣儀一県商工労働部長のメッセージを伝えた。また、羽淵中央会副会長は「産業全体のリストラクチャリングの動き、エネルギー環境問題の高まり、国際化への対応、内にあつては労働時間の短縮などと、課題は山積している。また長引く不況の波は、大波、小波、津波といろいろあるが、新年歌会始めの御題“波”に示されたように今年は折り重なる波を乗り越えることが課題といえる」と業界の奮起を訴えた。

## 検定合格者に証書伝達

### 10人に今後の活躍を激励

工業組合は新年互例会の席上で、平成5年度のプラスチック射出成形作業・技能検定の『合格証書伝達式』を行った。今年度の検定合格者は2級のみ10人（他に非組合員企業から4人が合格）で、互例会に出席した組合員が見守る中で、大松理事長が一人一人に合格証書や技能士章を手渡し、今後の活躍を激励した。

今年度の技能検定は、昨年6月から7月まで

の16日間、工業技術センターで実技検定、8月29日には岐阜大学で全国統一の学科試験が行われた。その結果（2級）は、38人が実技と学科の両方を受けて5人合格、また12人が学科だけを受けて6人合格、実技だけは13人が受けて3人が合格した。受験者に対する合格率は22%で、技能検定の門は厳しかった。

合格率が低かった原因は①各企業の生産工程の分業化②機器のコンピュータ化、自動化③基礎知識の不足一などで、検定委員は基礎知識の大切さを強調している。

なお、二級合格者は次のみなさん。



大松理事長から一人一人に手渡される検定合格証書

小野博之（三光合成(株)岐阜工場）

熊崎義章（同）

岩崎哲雄（同）

鐘ヶ江正知（ムトー精工(株)）

田中新二（同）

広瀬秀治（大栄工業(株)）

伊藤知己（岐阜プラスチック工業(株)）

林 茂（同）

酒井義則（同）

荻曾守（同）

# 経営革新を促す 中小企業リストラ支援法成立

◆本番を迎えた中小企業のリストラ

下請け製造業を中心とする中小企業のリストラチャリング（事業の再構築）推進のため通産省・中小企業庁は支援策を講じる。

この中核となるのが93年末の臨時国会で成立した「特定中小企業者の新分野進出等による経済の構造的変化への適応の円滑化に関する臨時措置法」(中小企業リストラ支援法)。

同法は期限7年の時限立法（臨時措置法）で、新分野進出や発注元の新規開拓、海外展開などについて、個別中小企業向けを中心とした助成策を規定している。同省では新法とこれに関連する助成策で中小企業の経営革新を促す考え。

## 組合中心から個別企業の支援へ

長引く不況や円高の進展から、大企業の海外生産移転や内製化は急速に進み、下請け分業構造に大きな影響が出ると見られている。中小企業政策審議会（通産相の諮問機関）の基本政策検討小委員会は93年6月の中間報告で、日本の下請け分業構造が深刻な環境変化に直面していると指摘、中小企業の構造改革へ向けて新たな支援策を構築する必要があることを提言している。

通産省はこうした動きを受けて、リストラ支援法制定に乗り出した。とくにリストラという視点から、従来の中小企業政策にみられるような協同組合中心の支援策でなく、個々の中小企業が活用することを前提としている。円高不況時に制定した「特定中小企業者事業転換対策等臨時措置法」(93年2月に期限切れで失効)と同等以上の内容を目指している。

## 指定4業種が対象

新法の支援対象は、①新規事業への進出、②新商品開発、③海外への進出などを計画している企業一などである。設備廃棄や人員削減には適用しない。業種は政令で製造業全般のほか、情報処理サービス業とソフトウェア業、それに印刷業の合計4種を指定している。さらに、この4業種のうち、生産額または取引額が相当程度以上減少した中小企業で、都道府県知事から「新分野進出等計画」の認定を受けると超低利融資などの対象となる。生産額などの減少幅は通達によって定め、実態に応じて見直す。現在のところ、①通常の企業は10%、②下請け比率または輸出比率が20%以上ある企業については5%、となっている。

また、製造業などの指定4業種以外からの中小企業の新規参入や、新たに事業を起こす個人は「事業開始計画」として、既存企業に準じた支援策を受けられる。

具体的な支援策には、まず法の施行と同時にスタートした中小企業信用保険制度の利用枠の拡大（倍額利用）と、中小企業設備近代化資金貸付制度の償還期間の延長（5年から7年へ）がある。

信用保険枠の拡大は別枠化などで対応するもので、普通保険では2億円の利用枠を4億円へ、無担保は2,000万円を4,000万円に、特別小口は500万円を1,000万円、海外投資関係は2億円を4億円（組合は4億円を8億円）、新事業開拓は1億5,000万円を3億円（同3億円を6億円）にそれぞれ倍額している。

第2次補正予算を財源とするものとしては、財政投融資金利(93年11月末現在で年利4.1%)なみの低利融資と、計画承認を受けた企業向けに財投金利を0.7%下回る超低利融資(同3.4%、融資機関は中小企業金融公庫、国民金融公庫、商工中金)を利用できる。組合に対する中小企業事業団の高度化融資も、通常の融資比率65%、利率年2.7%を、計画承認を受けた組合については比率80%、無利息に優遇する。計画に基づく設備リース、知識集約化、企業合同なども高度化融資の対象に加える。これらについては補正予算の成立後、94年の早い時期に実施する。

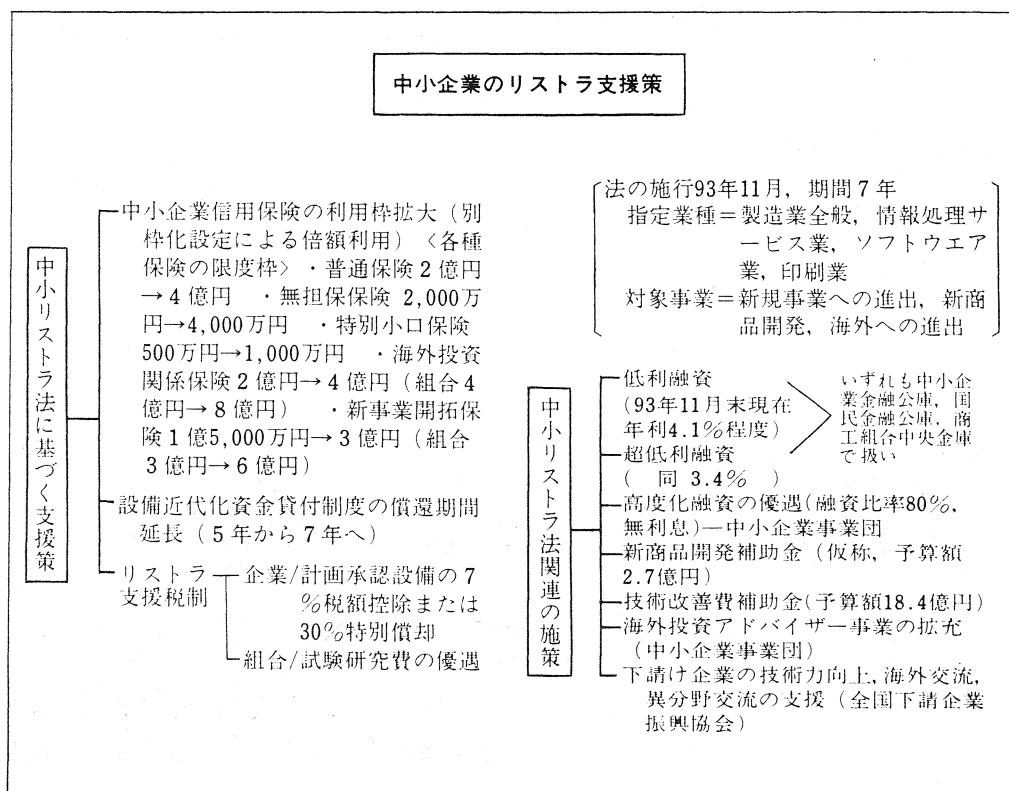
### 技術開発への補助金も新設

さらに94年度予算に基づくものとして、リストラ支援税制と新商品・技術開発のための

補助金の新設・拡充がある。リストラ支援税制は計画承認を受けた企業の設備取得に対して、7%の税額控除か30%の特別償却を認めるもの。同じく計画承認を受けた組合に対しては、試験研究税制とよばれる一連の優遇措置が認められる。

また、補助金は直接、中小企業などに交付するものとして、新商品開発のための補助金の新設(予算額約2億7,000万円)を、さらに技術開発のために既存の技術改善費補助金の拡充(同約5億円)を予定している。これらは94年度入り後に動き出す。

同庁では、これらの施策と連動する形で、中小企業事業団の海外投資アドバイザー制度をはじめとする指導・情報提供体制の拡充を94年度から計画しており、中小企業のリストラを多面的に支援していく。



## リサイクルで討論会

2月に名古屋の名工研ホールで

限りある資源を有効に…プラスチックのリサイクルをテーマにした『先端技術フォーラム』が2月17、18日の両日、名古屋市熱田区六番三丁目にある名古屋市工業研究所名工研ホールで開催される。このフォーラムは人工知能など先端技術の情報提供を目的に、90年度から開催されているもので、主催者側では組合員の参加を呼びかけている。

開催のねらいは①資源の無駄使いを無くするため長寿命プラスチックの開発②使用後の製品中のプラスチックをリサイクルできる知恵を出し合う③環境にやさしいプラスチックの開発④リサイクルできないプラスチックは熱エネルギーとして利用したり、分解して有用な原料に戻す⑤有害な廃棄物は効率的・経済的に除去するーに焦点を当てて企画された。

フォーラムの内容は、2日間に基調講演「廃棄プラスチック21世紀ビジョン」のほか3特別講演「自動車におけるマテリアルリサイクル」「生分解性プラスチックの開発と動向」「熱回収が最善の道・リサイクルの経済性について」行われる。その講演をはさんで第1日には「発泡トレイのリサイクル」（発表者・リス

バック企画部の多治見昭典企画課係長）など4事例の発表が行われる。第2日には午前中「澱粉系生分解性プラスチック」など4事例、午後には「廃プラスチックのリサイクルシステムの構築について」など4事例が発表される。

参加希望は名古屋工業研究所内、先端技術フォーラム名古屋実行委員会（TEL052-661-3161.FAX052-652-6776）まで。参加費は無料であるが、資料代として5,000円が必要。



### シーシーアイが制振シートを開発

昨年11月に岐陶工連主催で『ニューセラミックフェア』が開かれ、組合員のシーシーアイ(株)が参加（上の写真）した。出品したのは新開発商品「制振シート・ユレナインFD」で、機器や自動車の側板に貼りつけることにより、騒音の原因になる振動を吸収できるシート。素材は塩ビにセラミックを含浸させたゴム状の材料。

## 三菱化成のエンジニアリング プラスチックス

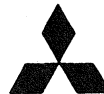
ナイロン樹脂  
**NOVAMID**  
ノバミッド

ポリカーボネート樹脂  
**NOVAREX**<sup>®</sup>  
ノバレックス

PBT樹脂  
**NOVADUR**  
ノバドール

中低圧ポリエチレン  
ポリエチレン **NOVATEC**

高圧ポリエチレン  
**NOVATEC-L**



三菱化成株式会社

本社：東京都千代田区丸の内2-5-2・三菱ビル  
電話 03(283)6320(大代表) (〒100)



# 事業主に求められる雇用の改善

## 「パートタイム労働法が施行される」

サービス経済化や若年労働力の確保難から“パートタイム労働者”は著しく増え、不況による労働力の緩和傾向の中でも重要な役割を果たしている。しかし、パートタイム労働者の就業をめぐるのは、多様な就業意識や就業実態を踏まえた適切な雇用管理が行われておらず、多くの問題点が指摘されている。

一方、パートタイム労働者自身も様々な職業生活上の不安を抱え、新たな改善が求められる。このため国は、パートタイム労働者の福祉増進を図る必要が生じたとし、昨年の6月に『短時間労働者の雇用管理の改善等に関する法律』（パートタイム労働法と略）を法制化し、昨年12月1日に施行したところである。

### 短時間労働者が人不足をカバー

これまで労働省は、毎年11月上旬をパートタイム労働旬間とし、パートタイム労働問題の啓発活動を実施してきたが、今後はパートタイム労働法にもとづき、事業主に法律内容の周知徹底や改善への助言指導、勧告をして行くことになった。

パートタイム労働者が急速に増え始めたのは昭和63年頃から。景気が拡大する中で若年労働力不足や大企業の大量採用の余波を受け、正規従業員を確保できなかった中小企業が、パートタイマー（アルバイト、嘱託を含む）などによる短時間労働者の補充によって人不足をカバーしたからだ。

### 労使双方にとり重要な役割果す

総務庁が実施した労働力調査によると、全国で868万人（うち女子592万人）ものパートタイマーがおり、実に雇用者総数の17.3%にのぼる。

岐阜県下ではさらにウェートを高めて18.8%、その実数は57万8千人を上回った。卸売・小売業・飲食店では40%近い割合に達し、労使双方にとり重要な就業形態になっている。

### 指針には就業規則の整備など…

12月1日の法施行とともに示された労働省の指針には、事業主が講ずべきパートタイム労働者の雇用改善措置として「雇入通知書の交付」「就業規則の整備」「労働時間」「年次有給休暇」「期間の定めのある労働契約」「賃金、賞与および退職金」「健康診断」など7項目の適正な労働条件の確保を定めている。

さらには「教育訓練の実施」「雇用保険の適用」「高齢者の短時間労働の促進」など6項目の教育や福利厚生面での充実を定めている。

### 短時間労働援助センターを設置

岐阜労働基準局では今後、パートタイム労働法の周知徹底に取り組むこととしており、新年度には「短時間労働援助センター」を設けて雇用管理の改善などの業務を行っていく。

施行にあたり岐阜婦人少年室は「短時間労働援助センターでは事業主に役立つ助言や指導を行っていくので利用を…」と呼びかけている。

## 豊かなデザインー 4

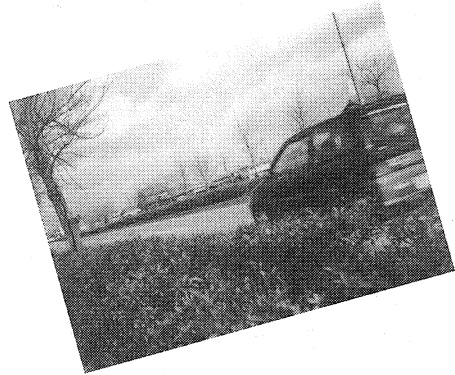
## 事故のデザイン

岐阜県プラスチックデザイン協会

■うらかな日和、あなたの自動車は郊外の道路を走っています。——なんていい道路になったものだ。舗装は良いし、分離帯の植え込みもよく手入れされているなあ…畑とたんぼしかなかった所にいろんなお店もできたなあ…——と風景を楽しみながらの快適な運転です。と！急に植え込みの影から車がああああ…!!

●昨年も自動車事故の死者が、1万人を越えました。まさしく戦争状態です。飛行機事故なら騒ぎますが、誰もなぜ何もいわないのでしょいか？それは、新聞報道を見るとよくわかります。いわく、スピードの出しすぎと思われる、わき見ではないか、前方不注意らしいと書かれています。ああそうか運転していたヤツが悪いのさ、オレはワタシはそうはならない。と皆さん感じていませんか。

デザイナーの目でこの状態を観察しますと、たくさん原因がわかります。第1は人間のミスですが、これは避けることができないと考えた方がいいのです。道具の設計では、フェイルセーフといって間違っても安全になるような機構を付けることが常識です。ところが驚くなかれ自動車にこの機構はほとんどありません。目の前にわが子がいようとブレーキとアクセルを間違えて踏めばひいてしまいますし、急ハンドルを切ればスピンします。2番目の原因は、自動車となります。この危険な道具が、役に立つから「ルール」を定めお互いの信頼関係で運用されているわけです。この信頼関係を損なうように仕向ける働き、すなわちミスを誘うのが第3の原因で、道路設計と交通システムの関係にあります。



●「道路がいい」というのは、何を意味するのでしょうか？舗装がよく道が広くてたくさんの車を速く通行させること、これは自動車専用道路の考え方です。すべての人（運転者・歩行者）に安全で快適、が一般道路の設計条件ではないでしょうか。事故の多い某県の道路を走りますと、前者の考え方だけの道路が住宅街から田園地帯まで通り、車も人もリヤカーも同じ平面を交錯しています。冒頭の情景が起らないはずがありません。運転者より前の部分が長く左右確認がしにくい車、ついうっかり頭を出してしまった運転者、道路に交錯点がありながら植え込みで見えなくしている道路設計、事故は起きるべくして起きます。製造物責任が自動車、道路、信号システムにも適用されれば犠牲に伴って改善されて行くかもしれません。

みなさんの製品づくりも、このような状態になる前に「いい」ということは何か、本質から考えてデザインをすることが求められています。本当に「いいもの」こそ必要とされる時代が、今来ていると感じますし、世の中が人間にとって本当に住み良くなる為にも…。

[岐阜県工業技術センター パーマン]

## スパーサー軸に成形部門を強化

### 岐阜産研工業(株)

新春の工場訪問は、昨年5月の改選で理事に就任した林貢一郎さんの会社・岐阜産研工業株式会社（本社・揖斐郡大野町大字公郷六ノ坪1403番地、資本金2,000万円、従業員はパート含め30人）を訪ねた。

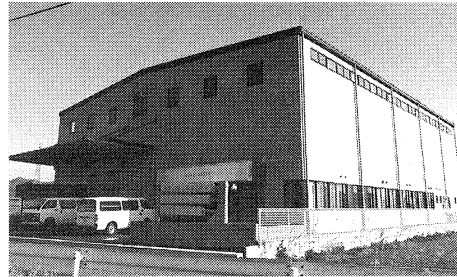
工場は新しく整備された県道・岐阜―関ヶ原線を北上した揖斐川左岸沿いで、新しい平野庄橋と三町大橋のほぼ中間。工場もまた新しく、昨年の11月に完成したばかりという。

### 事業多角化、ギフトの卸販売部門

林さんは「工業組合は創立25周年ですが、私の会社も創立25周年を迎えたところです。新工場はその記念事業で、3年前から1,650平方メートルの用地を手当てするなど移転準備を進めてきた。新築に当たっては、思い切って将来へのゆとりと安全に気を配り、工場は全面的に2階建て、事務所は3階立てとし、さらに工場の2階を全部倉庫にした」と話す。



将来へのゆとりと安全に気を配り、工場は全部2階建て



新成形工場  
の全景

移転の際にはインジェクションを1機新設し合計7機（175-220ト）とした。主力生産品は鉄筋コンクリート用のスパーサー、ラムネキャップ、自動車部品、コピー機部品で、主力中の主力はやはりスパーサー。ピルの鉄筋やコンクリート・ブロックの保持具で、創業以来のヒット商品である。

こうした成形事業部門に加え、ギフト商品の卸販売事業部がある。20年来じっくり育ててきた部門で「事業多角化により経営はすっかり安定してきた」という。当初はプラスチック関連のギフト用品が中心であったが、現在は台所用用品のプレミアム商品（主として銀行向け）へと幅を広げ、全社総売り上げの半数を越えるまでに成長してきたと話す。

### 従業員の意識高まる

新工場は不況の中のスタートとなったが「それだけに従業員の意識改革が高まった。新しい建物に移り、誇りに感じて仕事をしている。求人募集しなくても人は来てくれる。企業イメージも良くなったのです」と林さん「これをバネに、次の新企画に取り組むことができる」と胸をはる。

## 事務局だより

会員と事務局を結ぶページ

□あけましておめでとうございます□

「政局の混迷」「長引く不況」「景気対策の遅れ」「諸税の引き上げ」「郵便をはじめ各種の料金値上げ」などと、悪材料が続出する中で平成6年を迎えましたが、プラスチック加工業界にとっては、どのような経済環境が待ち構えているのでしょうか。

新年はイヌ年、戌の刻は午後8時前後。陽は沈み、夜に入ったばかり。先行きを見通せぬこの景気を占うようで面白くありません。イヌは「去ぬ」で、どうか不況は去り、犬のような素晴らしい臭覚と聴覚で、苦況から抜け出したいものです。

□新年互例会に多くの組合員が参加□

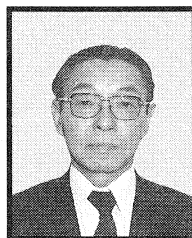
工業組合は新年初行事として1月22日に岐阜平安閣で新年互礼会を開催、多くの組合員に参加してもらい、大いに懇親を深めることができました。その模様は4頁に紹介しましたとおりで、席上、お招きした坂口県中小企業指導課長ら来賓から「業界ぐるみで不況克服を…」と激励のメッセージをいただきました。

□県職業能力推進大会で2人が受彰□

岐阜県職業能力開発促進大会が、昨年11月

18日に岐阜産業会館で開かれ、工業組合関係者が2人表彰されました。被表彰者は、プラスチックの金型製作作業を受験した堀部幸三さん（ムトー精工株式会社勤務）が技能検定成績優秀者として、また、技能検定業務の功労者として検定委員である井藤正司さん（ムトー精工株式会社勤務）が職業能力開発協会長から晴れの表彰を受けられました。

□前理事・美濃化学の吉田さん急逝□



工業組合の理事でありました美濃化学工業株式会社社長の吉田博司さんが、昨年11月9日に急逝されました。ご冥福をお祈りします。享年70歳。

通夜は翌10日に自宅の美濃市上条1385で、また、葬儀は11日に美濃市泉町の善光寺でしめやかに行われました。

### 岐阜県のプラスチック 1994 115号

平成6年1月25日発行

発行 岐阜市六条南2丁目11番地1号  
(岐阜産業会館4階)

電話 (0582) 72-7173

FAX (0582) 76-1525

### 岐阜県プラスチック工業組合

発行責任者 竹内安之

ポリエチレン

**スミカセン**®

エチレン酢酸ビニル共重合樹脂

**エバテート**®

ポリプロピレン

**住友ノーブレン**®

ポリスチレン樹脂

**エスブライト**

塩化ビニル樹脂

**スミリット**®

メタアクリルシート

**スミペックス**®

メタアクリル樹脂

**スミペックス-B**®

高密度ポリエチレン

**スミカセンハード**

熱可塑性エラストマー

**住友TPE**

合成ゴムSBR

**住友SBR**

合成ゴムEPR

**エスブレン**®

エチレン酢酸ビニル

塩化ビニル共重合樹脂

**スミグラフト**®



## 住友化学工業株式会社

名古屋支店

〒460 名古屋市中区錦1丁目11番18号(興銀ビル)

電話 <052> 201-7571

新年明けまして  
おめでとうございます

岐阜県プラスチック工業組合

役員一同



# リスのプラスチック

## 岐阜プラスチック工業株式会社

取締役社長 大松 利幸

本社 岐阜市神田町9丁目25番地(大岐阜ビル6階)  
〒500 ☎ <0582> 65-2233(代)  
生産本部 各務原市前渡東町4丁目222番地  
〒504 ☎ <0583> 86-9311(代)

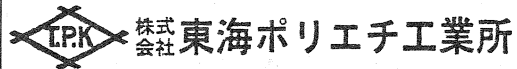


## コダマ樹脂工業株式会社

代表取締役社長 児玉 俊一

本社及び  
本社工場 岐阜県安八郡神戸町末守377の1  
電話 <0584> 224141番(代)  
郵便番号503-23

ポリエチレンチューブ  
農業用ポリエチレンフィルム



代表取締役社長 大野 實

本社工場 岐阜県羽島郡岐南町野中 ☎501-61  
TEL (0582) 46-1313番(代)  
FAX (0582) 47-2411番  
名古屋営業所 名古屋市西區城西5丁目5番4号 ☎451  
TEL (052) 521-9296番(代)  
FAX (052) 532-1664番



業務用食器一式・製造卸・治工具金型設計製作  
大垣プラスチック工業株式会社

代表取締役社長 日比 勝次

本社 岐阜県大垣市大鳥町2丁目394番地  
TEL <0584> 81-1347(代)  
営業所 名古屋市西區城西3-15-33  
TEL <052> 932-3945(代)

## 岐阜産研工業(株)

代表取締役 林 貢一郎

樹脂事業部 射出成型  
ギフト事業部 ギフト商品卸販売

本社・工場  
〒501-05 岐阜県揖斐郡大野町  
大字公郷六ノ坪 1408番地  
TEL (0585) 35-2511  
FAX (0585) 35-2327

## プラスチック材料全般 着色・再生加工 (有)久世樹脂工材

代表取締役社長 久世 幸博

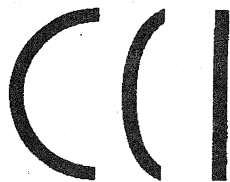
大垣市楽田町3丁目29  
☎ (0584) 81-6138(代)  
FAX (0584) 81-2260

## 三光合成株式会社

岐阜工場

工場長 三輪 嘉人

本社 富山県西砺波郡福光町遊部800  
TEL 0763-52-2135  
岐阜県安八郡安八町森部2454-1 〒503-01  
TEL 0584-64-3388  
FAX 0584-64-4936



技術と工夫で  
価値あるものを...

## シーシーアイ株式会社

代表取締役社長 岡部 修二  
岐阜県羽島郡岐南町八剣7-148  
電話(0582)47-3101

## 岐阜プラスチック協同組合

代表理事 清水 昭市

岐阜県各務原市前渡東町4丁目222番地  
TEL 0583-86-9356  
FAX 0583-86-9350

バス・航空機・車輛・船舶用各種座席、航空機部品  
強化プラスチック、太陽温水器



## 天龍工業株式会社

代表取締役社長 福西 紀雄

本社 岐阜県各務原市蘇原興垂町4丁目1番地  
TEL <0583>82-4111(代)



ひまわり印家庭用雑貨

## 東和化成株式会社

代表取締役 納土 栄一郎

本社・工場 岐阜市前一色3丁目5番16号  
TEL<0582>45-5528(代)〒500  
東京営業所 東京都中央区湊3-16-8  
磯部ビル2F  
TEL<03>551-6300〒104

各種プラスチックシート真空成型加工



## パール化成株式会社 PEARL CHEMICAL PRODUCTS CO.,LTD.

代表取締役 杉山 元彦

本社工場 〒501-04 岐阜県本巣郡真正町温井243-3  
TEL(0583)24-9155(代) FAX(0583)24-6221  
管理本部 〒500 岐阜市八坂町40番地の1  
岐阜工場 TEL(0582)71-0861(代) FAX(0582)75-0970



## ムトー精工株式会社

代表取締役 武藤 昭三

本社工場 〒509-01 岐阜県各務原市鶴沼川崎町1-60-1  
TEL(0583)71-1100(代) FAX(0583)82-4365  
岐阜工場 〒509-01 岐阜県各務原市鶴沼川崎町1-93  
TEL(0583)83-8311(代) FAX(0583)83-1516  
筑波工場 〒300-03 茨城県稲敷郡阿見町大字香澄の里13-2  
TEL(0298)89-0800(代) FAX(0298)89-0805

## 岐阜技研ポリマー 株式会社

代表取締役 篠田 哲

岐阜市岩地3-7-15  
TEL <0582>46-2541  
FAX <0582>46-2081



## 株式会社 武藤化成工業所

代表取締役 武藤 幸平

岐阜県武蔵郡武芸川町跡部井口781 〒501-26  
TEL<0575>46-3711 FAX<0575>46-2285

# 出光の石油化学製品

ポリスチレン  
スチレン系耐熱樹脂  
ポリカーボネート  
GFPET

ポリプロピレン  
高密度ポリエチレン  
直鎖状低密度ポリエチレン  
カルプ®



## 出光石油化学株式会社

東京都千代田区丸の内3-1-1(国際ビル) 〒100 ☎ 03-213-9361(代)  
名古屋支店 名古屋市中区栄2丁目1番1号 日土地名古屋ビル5F 〒460 ☎ 052-204-6051-3

## ShinEtsu 信越PVC

生活用品からエレクトロニクス材料まで——信越PVC

# P.V.C.

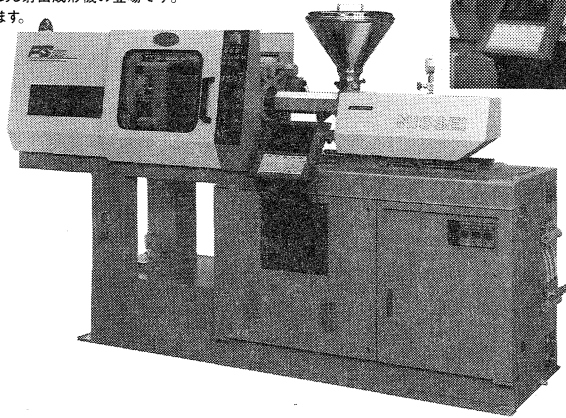
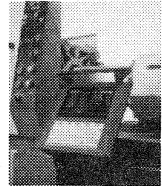
信越化学工業株式会社 名古屋支店 〒450 名古屋市中村区名駅4-27-23(名古屋三井ビル東館)  
☎ (052)581-0651

高性能小型精密射出成形機PSシリーズ

# PSの進化。

NISSEIは、業界に先駆けて1970年、小型精密射出成形機PS型を市場に送り出しました。以来、時代の要請に応え、PS型は高機能化を図り、ハイサイクル安定成形にその真価を発揮し、各産業界から好評をいただきました。今回、PS型の実力を継承しながら、最新の電子制御システムを搭載、高機能にさらに磨きをかけました。射出性能と操作性の向上、FA対応など、新感覚の生産工場を可能にした価値ある射出成形機の登場です。NISSEIは、お客様の利益を生み出す機械をお届けしていきます。

NISSEI 電子コントローラ



## NISSEI

### 日精樹脂工業株式会社

名古屋営業所 / 愛知県小牧市外堀2-167 ☎0568-75-9555(代)

岡崎出張所 / 愛知県岡崎市上六名4-1-8三剛ビル1F ☎0564-52-1430  
三重出張所 / 三重県津市神戸横田203-4 ☎0592-24-0716  
●本社・工場・技術研究所 / 長野県坂城町南条2110 ☎0268-82-3000(大代表)  
●東京事務所 ●テクニカルセンター / 本社・相模原・岩槻・名古屋・大阪  
●営業所 / 全国11ヶ所 ●出張所 / 全国21ヶ所 ●海外サービスステーション 28ヶ所

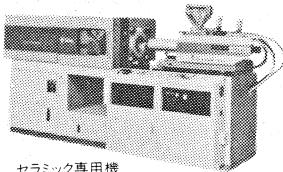
ハイテクノロジーに挑戦

# MEIKI

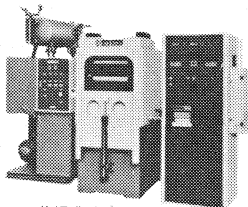
プラスチック、光ディスク、ファインセラミック射出成形機、IC基板成形プレス等、先端技術加工機を生産して、世界の名機として活躍しています。



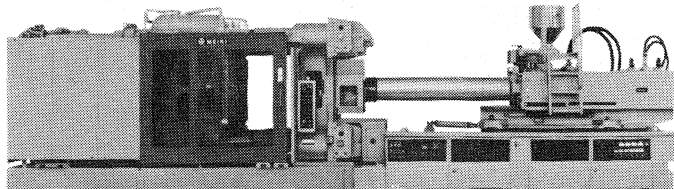
ディスク専用機



セラミック専用機



IC基板成形プレス



プラスチック射出成形機



株式会社

## 名機製作所

本社・工場

〒474 愛知県大府市北崎町大根2 ☎0562>48-2111(代)



時代の進歩に多くを学んでいます。

次は...

**JSR 合成樹脂ワイドセレクション**

**JSR ABS**

イッパンヨウ  
コウキノウ ツナカセヨウ  
コウコウタケヨウ

**JSR AES**

タイコウセイジュシ

**JSR XT**

チヨウタイネツジュシ

**JSR NC**

ジコシヨウカセイジュシ

**JSR NF**

ジコシヨウカセイジュシ

**JSR MBS**

PVCキョウカヨウジュシ

**JSR EXCELLOY**

フクゴウガタタイネツジュシ

**JSR CONDUCTOR**

ドウデンセイジュシ

**JSR AS**

コウキノウガタASジュシ

**JSR RB**

フタジエンジュシ

**JSR TR**

ネツカンセイエラストマー

**JSR SIS**

ネツカンセイエラストマー

**NYLON 46**

**NYLON 6. PET-G**

コウキノウポリマーアロイ

**MAXLOY**

**DYNA FLEX**

**LNK FLEX**

エラストマーケイフクゴウザイ

日本合成ゴム株式会社

**JSR**

東京都中央区築地2-11-24

☎(03)5565-6537

大阪支店☎(06) 203-0041

名古屋支店☎(052)571-1231

広島支店☎(082)221-7252



生きてる素材。

三菱レイヨンのプラスチック

メタクリル樹脂 / 板状品

**アクリライト** <sup>®</sup>

メタクリル樹脂 / 射出成形材料

**アクリペット** <sup>®</sup>

ABS樹脂

**ダイヤペット** <sup>®</sup> **ABS**

**三菱レイヨン**

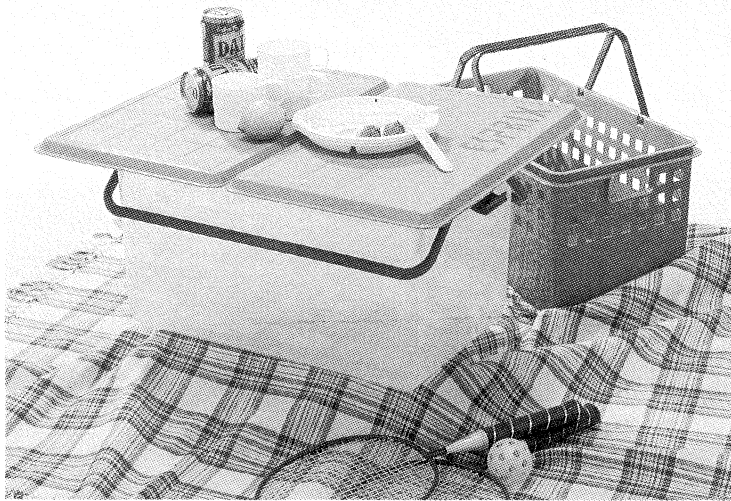
東京(272)4321 / 大阪(202)2241 / 名古屋(561)6711

# ESPRIX EARTH SPIRIT

エスプリックス

行きはボックスとバスケットにいっぱい詰めて出発。ランチタイムにフタを開けばテーブルに早変わり。帰りは、バスケットをボックスに入れコンパクトに収納できる便利なレジャーボックスです。(フタの内側は、収納スペースになります。)

ボックスがテーブルに早変わり



ダブルボックス

 **リス株式会社**

岐阜プラスチック工業株式会社

- 本社：岐阜市神田町9丁目25番地(大岐阜ビル6階)
- 生産本部：各務原市前渡東町4丁目222番地

岐阜プラスチックグループ

- リス興業(株)
- リスパック(株)
- リス(株)
- 東北リス(株)
- 東京リス(株)
- 大阪リス(株)
- 四国リス(株)
- 九州リス(株)
- リスエンジニアリング(株)